

バードウォッチング

《^{もり}森の^{とり}鳥^{へん}編》



ながさきしかがくかん
長崎市科学館

2024.2.25(日)

かわはらおおいけ
川原大池

か コゲラ (キツツキ科)



わたし もっと みちか なかま
私たちにとって、最も身近なキツツキの仲間で、スズメぐらい
おお
の大きさです。

ゆび ぜんご ほん わ き みき すいちよく
あしの指が前後2本ずつに分かれているので、木の幹に垂直
さか とくい
や逆さまにとまるのも得意です。

こえ な もり
ドアがきしむような「ギー、ギー」という声で鳴きながら、森の
なか と まわ まちなか て か き み
中を飛び回ります。街中でも、手ごろな枯れた木を見つけると、
あな あ す つく いがい みちか ばしよこそだ
穴を開けて巣を作ることがあります。意外に身近な場所で、子育て
ようす かんさつ
の様子を観察できるかもしれませんね。

ジョウビタキ(ヒタキ科)^か



スズメより少し小さい冬の渡り鳥です。人里にも良く
あらわ 現れ、おじぎをする様な仕草をします。

「ヒッヒッ」と笛のような声で鳴き、さらに「カッカツ」と
いし 石をぶつけるような声で鳴きます。

ヒタキはこの声を、火打石を鳴らす音に見立てた事に
よります。

ジョウは漢字で『尉』と書き、銀髪ぎんぱつの事ことです。

冬羽ふゆはのオスは銀ぎん、黒くろ、オレンジめだいろの目立つ色ですが、メ
スじみは地味ちやいろな茶色です。どちらにも羽毛うもうに白しろい斑点はんでんがあ
るので、ほかの鳥とりと区別くべつは付けつやすいおもと思います。

か シジュウカラ (シジュウカラ科)



しろ くろ すがた
白いシャツに黒のネクタイ姿。

ちい かわい とり じゅうたくち よ み
小さく可愛らしい鳥で、住宅地でも良く見られます。

うもう しろ はんてん ほか とり くべつ つ
羽毛に白い斑点があるので、他の鳥と区別は付けやす
いと思います。

「ツピー、ツピー」と鳴きながら、^な枝から枝へ忙しく移
^{えだ えだ いそが い}
動します。あまり人^{ひと}を怖^{こわ}がらないので、じっと静^{しず}かに観^{かん}察^{さつ}
すると、いろん^しな仕^ぐ草^さを見^みせてくれます。

さいきん けんきゅう しゅるいていど たんご つか こと
最近の研究で、20種類程度の単語を使う事、またそ
れら^くを組^あみ合^あわせたりして、150種類以上^{しゅるい いじょう}の文^{ぶん}を作^{つく}
っている事^{こと}が分^わかっているそうです。

か ヤマガラ (シジュウカラ科)



Copy Right 大坪 潔(長崎市科学館)

この鳥も、大きさだけでなく、賢さ、人懐っこさはシジュウカラと同じです。

夏はよく虫を捕まえ、冬は木の実を中心に食べます。ドングリなどの硬い殻も、あして押さえて、くちばしで穴を開け、こじ開けて食べてしまいます。冬になり、森の中の食べ物が少なくなると、拾い集めたドングリを木の皮と幹の隙間に貯めておくこともあります。

森に響き渡る声で「ツツピー」とさえずります。

か ヒヨドリ (ヒヨドリ科)



Copy Right 大坪 潔(長崎市科学館)

東^{ひがし}アジアだけにすむ鳥^{とり}で、私^{わたし}たちにはとても身近^{みぢか}
な鳥^{とり}ですが、日本^{にほん}以外^{いがい}では数^{かず}が少^{すく}ないそうです。つん
ざく^{おおごえ}ような大声^{おおごえ}で「ピー、ピー」「ピーヨ、ピーヨ」
と鳴^なきます。花^{はな}の蜜^{みつ}や果^{かじゅう}汁^{だいこうぶつ}が大好^{うめ}物^{はな}で、梅^{うめ}の花^{はな}にやっ
てきたり、庭^{にわ}先^{さき}にミカン^{みかん}を置^おいておくと、真^まっ先^{さき}に見^みつ
けて食^たべにきたりするようすも見^みられます。秋^{あき}は渡^{わた}りの
季^き節^{せつ}で、ハヤブサ^{こうげき}などの攻^さ撃^{げき}を避^さけるため、集^{しゅう}団^{だん}で
海^{かい}面^{めん}ギリギリを飛^とんでいくようすも見^みられます。

か メジロ (メジロ科)



Copy Right 大坪 潔 (長崎市科学館)

この時期は花の蜜や果汁を探して、ウメやツバキの花などに来るようすがよく見られます。庭先に切ったミカンを置いておくと、食べに来たりしてくれる親しみやすい鳥です。時にはシジュウカラたちと仲良く一緒に移動することもあります。「梅にウグイス」と言いますが、昔の人が見間違えたもので、どうやら「梅にメジロ」が正解のようです。夜になるとぎゅうぎゅうに押しくらまんじゅうしながら、枝にとまって休むことから「目白押し」という言葉が生まれたそうです。

ハクセキレイ(セキレイ科)^か



Copy Right 大坪 潔(長崎市科学館)



Copy Right 大坪 潔(長崎市科学館)

すらりとした^{たいけい}体形に、白、黒、グレーのモノトーンコーデ
というおしゃれないでたちの^{とり}鳥です。^{うんどうじょう}運動場や^{ちゅうしゃじょう}駐車場
などの^{ひろ}広い^{ばしょ}場所で、しっぽを^ふヒョコヒョコ振りながら、^{えさ}餌
をさがして^{ある}歩く^{すがた}姿がよく見られます。オスはなわばり
^{いしき}意識が^{つよ}強く、^{くるま}車の^{うつ}サイドミラーに^{じぶん}映る自分の^{すがた}すがたを、
ライバルと^{かん}勘ちがいして^{すがた}つつく^み姿を見たことがあるかも
しれませんね。

カワラヒワ(アトリ科)^か



かわはらこうえん ちゅうしゃじょう み
川原公園では、駐車場あたりでよく見られます。

からだ おお な
体はスズメぐらいの大きさです。「チチチ…」と鳴きなが
ら、き き しゅうだん と うつ み
木から木へと集団で飛び移るようすがよく見られ
ます。からだ ふと きいろ
体のわりに太いくちばしと、つばさの黄色いもよう
めじるし
が目印です。

その他の鳥達

～見る事が出来るかも?!～

キセキレイ(セキレイ科)



ウソ (アトリ科)



モズ(モズ科)



ホオジロ(ホオジロ科)



ツグミ (ヒタキ科)



シロハラ (ヒタキ科)

